

作物の種類		あかクローバ	467	1次必須項目											
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位											調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	草型	10個体、2反復	観察		直立	やや ～直 立	やや 直立	中 ～や 直	中	中	中 ～や ほ	やや ほふ く	やほ ～ほ く	ほふ く	着蕾期における株の外周部の茎が地表となす角度により判定
2	草丈	10個体、2反復	測定	cm（小数第1位を四捨五入）											開花期における地表からの高さを計測
3	茎の太さ	10個体、2反復	測定	mm（小数第2位を四捨五入）											茎の中央部の径を計測
4	毛茸の程度	10個体、2反復	観察	無	極少	より 少	少	やや 少	中	やや 多	多	より 多	極多	花梗直下の節間の毛茸の生え方	
5	小葉長	10個体、2反復	測定	mm（小数第1位を四捨五入）											開花期における最大葉の中央小葉の長さを計測
6	小葉幅	10個体、2反復	測定	mm（小数第1位を四捨五入）											開花期における最大葉の中央小葉の幅を計測
7	葉斑の鮮明度	10個体、2反復	観察	無	極不 鮮明	より 不鮮 明	不鮮 明	不鮮 ～や 不	やや 不鮮 明	や不 ～鮮 明	鮮明	より 鮮明	極鮮 明	葉斑（白斑）の有無と鮮明さにより評価	
8	開花始期	10個体、2反復	観察	年月日											50%の個体で個体当たり3頭花が開花した日
9	花色	10個体、2反復	観察		白	極淡 赤	淡赤	やや 淡赤	赤	より 赤	濃赤		その他	開花直後における頭花の色調	

作物の種類		あかクローバ		467		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	倍数性	10個体、2反復	観察		二倍体		四倍体		その他倍数体						染色体数の計測、または核量に基づき100個体を評価
2	播種年の開花性	10個体、2反復	観察		根生葉のみ	節間伸長茎少、着花茎無し	節間伸長茎少、着花茎あり	節間伸長茎が半分、着花茎なし	節間伸長茎が半分、着花茎有り	節間伸長茎多、着花茎無し	節間伸長茎多、着花茎あり	節間伸長茎のみ、着花茎あり	開花茎のみ	10月に、根生葉、茎、開花茎の有無、程度により調査	
3	播種年の再生草高	10個体、2反復	測定	cm (小数第1位を四捨五入)									播種年における刈払い後4、5週間目の草高		
4	播種翌年春の草高	10個体、2反復	測定	cm (小数第1位を四捨五入)									播種翌年の春季萌芽4週間後の草高		
5	播種翌年の再生草高	10個体、2反復	測定	cm (小数第1位を四捨五入)									播種翌年における1番草刈取後4~6週間目の草高		
6	節間数	10個体、2反復	測定	個 (小数第2位を四捨五入)									主茎の節間数を2年目1番草の開花期に調査(個)		
7	葉形	10個体、2反復	観察		細長	卵形	円形							開花期における最大葉の中央小葉の形で判定	
8	葉色	10個体、2反復	観察		淡	やや淡~淡	やや淡	中~やや淡	中	中~やや濃	やや濃	やや濃~濃	濃	播種年における刈払い後4、5週間目、および春季の葉色の濃淡	
9	子葉長	10個体、2反復	測定	mm (小数第1位を四捨五入)									播種後2週目、初生葉が展開した個体の子葉の長さを計測		
10	子葉幅	10個体、2反復	測定	mm (小数第1位を四捨五入)									播種後2週目、初生葉が展開した個体の子葉の幅を計測		
11	開花個体頻度	10個体、2反復	測定	% (小数第1位を四捨五入)									開花期における開花個体の割合		
12	頭花数	10個体、2反復	測定	個 (小数第1位を四捨五入)									1茎当たりの頭花数 (5茎/1個体を調査)		
13	小花数	10個体、2反復	測定	個/1頭花 (小数第1位を四捨五入)									1頭花当たりの小花の数 (5頭花/1個体)を調査する		
14	1000粒重	10個体、2反復	測定	g (小数第3位を四捨五入)									計20個体 (10個体2反復)の混合精選種子を100粒4反復秤量して1000粒重に換算		

作物の種類		あかクローバ	467	1次選択項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
15	茎数	10個体、2反復	観察		極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	開花期における茎数の多少

作物の種類		あかクローバ		467	2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	モザイク病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種または汚染圃場において罹病明らかな時期に罹病程度から抵抗性の程度を観察評点する
2	茎割病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種または汚染圃場において罹病明らかな時期に罹病程度から抵抗性の程度を観察評点する
3	菌核病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種または汚染圃場において罹病明らかな時期に罹病程度から抵抗性の程度を観察評点する
4	再生性	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	1番草刈取り2～3週間後、観察評点する
5	春の草勢	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	越冬後萌芽1ヵ月の時点の刈取り秤量を想定した草量の評点
6	夏の草勢	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	夏季の刈取り秤量を想定した草量の評点
7	秋の草勢	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	秋季の刈取り秤量を想定した草量の評点

作物の種類		あかクローバ		467		2次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	輪紋病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	罹病明らかで、品種間差の明確な時期に、罹病程度から抵抗性程度を観察評点する
2	さび病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	罹病明らかで、品種間差の明確な時期に、罹病程度から抵抗性程度を観察評点する
3	うどんこ病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	罹病明らかで、品種間差の明確な時期に、罹病程度から抵抗性程度を観察評点する
4	耐倒伏性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	1番草の開花始期における倒伏の程度を評点
5	越冬性	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	早春における枯死率、再生茎率、葉枯れ程度から総合的に評点
6	越夏性	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	初秋における枯死率、再生茎率、草勢等から総合的に評点
7	耐病性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	発病が認められた時、罹病株率または被害の程度により判定 (病名を付記)
8	耐虫性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種または自然発病による被害の程度により評価 (害虫名を付記)

作物の種類		あかクローバ		467	3次必須項目								
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	生草収量（1番草）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）									1区の試験面積6㎡のうち、2㎡以上を刈取り秤量する（有効数字3桁）
2	乾物率（1番草）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）									刈取り時に生草300～500gをとり、70℃48時間以上、恒量になるまで通風乾燥
3	乾物収量（1番草）	2区	算出	kg/a（小数第1位を四捨五入）									（生草収量×乾物率）より計算する
4	生草収量（再生草）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）									再生草（2番草以後の合計）について、1番草と同様にして測定
5	乾物率（再生草）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）									再生草（2番草以後の合計）について、1番草と同様にして測定
6	乾物収量（再生草）	2区	算出	kg/a（小数第1位を四捨五入）									再生草（2番草以後の合計）について、1番草と同様にして算出

作物の種類		あかクローバ		467	3次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	乾物消化率	2区、2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									消化試験または酵素法による(乾物中%)	
2	粗たん白質	2区、2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									ケルダール法または近赤外分析による(乾物中%)	
3	ADF	2区、2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									酸性デタージェントーアセトン洗浄(乾物中%)	
4	ADL	2区、2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									酸性デタージェントリグニンとして定量(乾物中%)	
5	採種性	2区、2反復	測定	g/m ³ (小数第1位を四捨五入)									1m ³ 以上から採種し精選した種子重	
6	1さや種子数	2区、2反復	測定	粒 (小数第2位を四捨五入)									20頭花を任意に選び、小花数を数え、さらに稔実種子数を数えて算出	
7	永續性	2区、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	3年目の最終刈取り後に基部被度より観察評点する
8	採食性	2区、2反復	観察・測定		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	放牧または自由採食試験による採食量により評価